

## 県産材を活用した木造住宅への支援

### 1 県産材を活用した新築住宅への助成制度「住まいる支援事業」(H14~)

- 木材利用の推進と地場産業の活性化を目的として、最大100万円を助成
- “十分な予算措置”と“年中いつでも申請できる”使いやすさが県内工務店から好評
- 木造戸建住宅での利用割合は、平成19年度の22%から令和2年度は44%に増加

### 2 とっとり健康省エネ住宅「NE-ST」(R2~)

- 国の省エネ基準を上回る県独自の高性能省エネ住宅「とっとり健康省エネ住宅」の普及を促進するため、住まいる支援事業に最大50万円の上乗せ助成を開始
- 新築住宅における割合は、令和2年度の14%から令和3年度は23%に増加

区分	国の省エネ基準	ZEH (ゼッチ)	とっとり健康省エネ住宅性能基準		
			T-G1	T-G2	T-G3
基準の説明	次世代基準 (H11年)	2020年標準 政府推進	冷暖房費を抑える ために必要な 最低限レベル	経済的で快適に 生活できる 推奨レベル	優れた快適性 を有する 最高レベル
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
世界の省エネ 基準との比較					

### 3 木塀の普及・促進(R2~)

- 令和2年度から「住まいる支援事業」のメニューに県産材を活用した木塀を追加し助成
- 地震に対する安全性向上、鳥取の美しい景観になじむ木塀の事例集等を作成し、普及・促進を図る

宣言項目：6, 8

## 鳥取県内におけるCLT活用建築物

日ノ丸産業(株) 新社屋 (鳥取市)



設計監理：白兎設計事務所 (県内事業者)

規模：4階建

延べ面積：1,481m<sup>2</sup>

木材数量：683m<sup>3</sup> (うちCLT：281m<sup>3</sup>)

竣工年月：令和3年8月

その他：日本初の木質2方向ラーメン構造を用いた  
純木造の4階建て事務所

床・屋根に国産スギCLTを使用

「砂丘カフェ」 (仮称) (鳥取市)



設計監理：隈研吾建築都市設計事務所

規模：鉄筋コンクリート造+CLT 2階建

延べ面積：190m<sup>2</sup>

木材数量：104m<sup>3</sup> (うちCLT：39m<sup>3</sup>)

竣工年月：令和4年7月 (予定)

その他：CLTには県産原木を県内でラミナ加工した  
ものを使用予定

砂丘の景観にマッチした外壁にCLTを使用